

社会福祉法人大田幸陽会法人本部

令和6年度(2024年度)事業報告

I 法人概要

1、評議員会

定時 評議員会	<p>招集：令和6年6月12日（水）</p> <p>開催：令和6年6月27日（木）</p> <p>評議員現員11名：出席10名、欠席1名</p> <p>監事現員2名：出席1名、欠席1名</p> <p>出席理事4名：理事長、専務理事、常務理事、施設長理事</p> <p>決議4件：令和5年度決算、令和6年度補正予算、定款変更、理事の退任</p> <p>報告6件：令和6年度事業報告、グループホーム建設計画、法人組織図、福祉サービス第三者評価受審結果、令和6年度行事予定、第1回理事会で承認された改正規程</p>
第2回 評議員会	<p>招集：令和6年10月25日（金）</p> <p>開催：令和6年11月7日（木）</p> <p>評議員現員11名：出席11名、欠席0名</p> <p>監事現員2名：出席1名、欠席1名</p> <p>出席理事4名：理事長、専務理事、常務理事、施設長理事</p> <p>決議1件：令和6年度第2次補正予算</p> <p>報告4件：令和6年度事業報告、グループホーム建設計画、定款変更について、第2回理事会で承認された改正規程</p>
第3回 評議員会	<p>招集：令和7年3月18日（火）</p> <p>開催：令和7年3月27日（木）</p> <p>評議員現員11名：出席8名、欠席3名</p> <p>監事現員2名：出席1名、欠席1名</p> <p>出席理事4名：理事長、専務理事、常務理事、施設長理事</p> <p>決議3件：令和6年度第3次補正予算、令和7年度事業計画、令和7年度収支予算</p> <p>報告7件：第6回理事会で議決された規程改正及び評議員選任解任委員会委員の選任、グループホーム建設計画、令和6年度昇格選考結果、大田区指導監査、法令遵守推進委員会報告、苦情解決制度第三者委員等の委嘱、令和7年5月1日付け人事異動</p>

2、理事会

第1回 理事会	<p>招集：令和6年5月13日（月） 開催：令和6年6月12日（水） 理事現員7名：出席6名、欠席1名 監事現員2名：出席1名、欠席1名 決議11件：令和5年度事業報告、令和5年度決算、令和6年度補正予算、定款変更、定時評議員会の招集、会社役員賠償責任保険契約の更新加入、再雇用職員就業規則の一部改正、就業規則等の一部改正、理事の退任、懲戒委員会委員の改選、懲戒委員会規程の一部改正 報告5件：職務執行報告、グループホーム建設計画、法人組織図、福祉サービス第三者評価受審結果、令和6年度行事予定</p>
第2回 理事会	<p>招集：令和6年9月24日（火） 開催：令和6年10月25日（金） 理事現員7名：出席5名、欠席2名 監事現員2名：出席2名、欠席0名 決議6件：令和6年度事業報告、令和6年度第2次補正予算、第2回評議員会の招集、理事長専決処分の承認、運営規程8本一括一部改正、生活ホーム運営規程の一部改正 報告3件：職務執行報告、グループホーム建設計画、定款変更</p>
第3回 理事会	<p>招集：令和6年11月29日（金） 開催：令和6年12月13日（金） 理事現員7名：出席6名、欠席1名 監事現員2名：出席1名、欠席1名 決議1件：グループホーム新築工事契約手続きについて</p>
第4回 理事会	<p>招集：令和6年11月29日（金） 開催：令和6年12月13日（金） 理事現員7名：出席6名、欠席1名 監事現員2名：出席1名、欠席1名 報告1件：法令遵守推進委員会報告</p>
第5回 理事会	<p>招集：令和7年1月27日（月） 開催：令和7年2月27日（木） 理事現員7名：出席6名、欠席1名 監事現員2名：出席2名、欠席0名 決議1件：グループホーム新築工事契約締結について</p>
第6回 理事会	<p>招集：令和7年3月10日（月） 開催：令和7年3月18日（火） 理事現員7名：出席6名、欠席1名 監事現員2名：出席2名、欠席0名 決議10件：令和6年度第3次補正予算、令和7年度事業計画、令和7年度収支予算、第3回評議員会の招集、業務委託契約</p>

	<p>の締結、給与規程等の一部改正、育児・介護休業規程の一部改正、運営規程の一部改正、評議員選任解任委員会委員の選任、施設長等の選任</p> <p>報告 7 件：職務執行報告、グループホーム建設計画、昇格選考結果、大田区指導監査、法令遵守推進委員会報告、苦情解決制度第三者委員等の委嘱、令和 7 年 4 月 1 日付け人事異動</p>
--	---

3、評議員選任・解任委員会

令和 6 年度の開催：なし

4、規程等の制定及び一部改正等

- (1) 給与規程の一部改正
 - ①令和 6 年 3 月 31 日適用：住居手当の停止
 - ②令和 6 年 4 月 1 日適用：居住支援特別手当の創設
 - ③令和 6 年 4 月 1 日適用：当局の指摘により上記②の表記方法を改めた
 - ④令和 7 年 4 月 1 日施行：夜勤手当額の増額改正
- (2) 就業規則の一部改正
 - ①令和 6 年 7 月 1 日施行：障害者生活ホーム交替勤務区分の整備
- (3) 再雇用職員就業規則の一部改正
 - ①令和 6 年 4 月 1 日施行：年次有給休暇に関する規定の整備
 - ②令和 6 年 7 月 1 日施行：障害者生活ホーム交替勤務区分の整備
 - ③令和 6 年 4 月 1 日適用：居住支援特別手当の創設
 - ④令和 6 年 4 月 1 日適用：当局の指摘により上記③の表記方法を改めた
 - ⑤令和 7 年 4 月 1 日施行：夜勤手当額の増額改正
- (4) 嘱託職員就業規則の一部改正
 - ①令和 6 年 4 月 1 日適用：居住支援特別手当の創設
 - ②令和 6 年 4 月 1 日適用：当局の指摘により上記①の表記方法を改めた
 - ③令和 7 年 4 月 1 日施行：夜勤手当額の増額改正
 - ④令和 7 年 4 月 1 日施行：本俸表の改正
- (5) 非常勤職員就業規則の一部改正
 - ①令和 6 年 7 月 1 日施行：障害者生活ホーム交替勤務区分の整備
 - ②令和 6 年 4 月 1 日適用：居住支援特別手当の創設
 - ③令和 6 年 4 月 1 日適用：当局の指摘により上記②の表記方法を改めた
 - ④令和 7 年 4 月 1 日施行：夜勤手当額の増額改正
- (6) 育児・介護休業規程の一部改正
 - ①令和 7 年 4 月 1 日施行：法改正に対応
- (7) 懲戒委員会規程の一部改正
 - ①令和 5 年 10 月 1 日に遡って施行：非常勤職員就業規則の一部改正を反映
- (8) 運営規程の一部改正
 - ①令和 6 年 4 月 1 日に遡って施行：感染症対策の義務化対応
 - 7 本一括：のぞみ園、まごめ園、区立しいのき園、区立新井宿福祉園、区立つばさホーム前の浦共同生活援助、同短期入所、障害者生活ホーム
 - ②令和 6 年 4 月 1 日に遡って施行：東京都福祉保健財団の指摘による条文整理
 - 2 本一括：まごめ園、さわやかワークセンター
 - ③令和 6 年 11 月 1 日施行：障害者生活ホームの定員及び費用の変更

- ④令和7年4月1日施行：区立大森東福祉園の利用定員・職員数の増
- ⑤令和7年4月1日施行：障害者生活ホームに地域連携推進会議を設置する
- ⑥令和7年4月1日施行：区立つばさホームに地域連携推進会議を設置する

5、組合等登記令による法人登記

資産総額 1,714,124,015円 令和6年3月31日変更 同年6月28日登記

6、職員等の採用・転換・退職等

	正規・嘱託等	再雇用職員	非常勤職員	採用合計
施設長等の採用	0			0
新規採用	34	0	18	52
転換	4	1	0	5
採用合計	38	1	18	57
	正規・嘱託等	再雇用職員	非常勤職員	退職合計
施設長等退職	2			2
職員退職等	25	1	15	41
退職合計	27	1	15	43

7、昇格選考

試験実施日：令和6年12月14日（土）
 結果：受験者2名・合格者2名

8、拠点事業所運営状況：職員配置、利用者受入れ等の状況

(1) 事業所の状況：R7.3.31現在

事業名	就労			生活介護	重症心身障害者 通所事業	共同生活援助	サテライト型 住居	短期入所	計画相談支援	居宅介護等	自立生活援助	移動支援	日中一時支援	訪問介護等	移動支援従業者 養成研修	余暇活動支援	高齢者向け住宅	サービス付き	
	継続B型支援	移行支援	定着支援																
事業所数	5	1	1	4	1	2	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
定員等	定員		現員	定員				事業所数(内訳)										住居数	
事業所・拠点	50																		
のぞみ園	37			25															
まごめ園	34	6	17																
さわやかワークセンター	60																		
区立しいのき園	60								1										
区立志茂田福祉センター				40															
区立新井宿福祉園				70	5														
区立池上福祉園				45															
区立大森東福祉園(本園)				6	5														
同上(分場)																			
区立つばさホーム前の浦						11		11											
障害者生活ホーム						44(サテライト2舎)													
ラナハウス西糞谷																			15
ケアサポート幸陽										1	1	1	1	1	1	1			
さんさん幸陽									1										
大田区若草青年学級																			1
合計	241	6		186	10	55(サテライト2舎)		11											15
通所事業所の定員合計	443																		

(2) 職員の状況：R7.3.31 現在

職員配置 在籍/計画	正規職員 区派遣職員含む	正規職員以外	嘱託医	合計
のぞみ園	14/14	7/7	2	23/23
まごめ園	22/22	6/7	2	30/31
さわやかワークセンター	9/10	21/19	0	30/29
区立しいのき園	13/14	5/5	2	20/21
区立志茂田福祉センター	16/16	0	2	18/18
区立新井宿福祉園	25/25	6/6	2	33/33
区立池上福祉園	40/43	16/16	2	58/61
区立大森東福祉園	29/30	6/5	2	37/37
区立つばさホーム前の浦	27/28	10/14	0	37/42
障害者生活ホーム	17/13	21/24	0	38/37
ラナハウス西糀谷	(内3名兼務)	2/2		2/2
ケアサポート幸陽	4/5	22/28	0	26/33
さんさん幸陽	7/6	1/1	0	8/7
大田区若草青年学級	0	2/2	0	2/2
本部事務局	10/10 のぞみ園兼務1	1/0		11/10
合計	233/236	126/136	14	373/386
	359/372			

(3) リスクマネジメント集計実績

上半期		リスクレベル				
		1	2	3	4	5
小計	643件	61	474	87	16	5
ニヤリほっと	事故	535		108		
下半期		リスクレベル				
		1	2	3	4	5
小計	497件	48	374	62	10	3
ニヤリほっと	事故	422		75		
年間		リスクレベル				
		1	2	3	4	5
合計	1,140件	109	848	149	26	8
ニヤリほっと	事故	957		183		
インシデント	レベル1	にやりホット～ヒヤリホット				
	レベル2	ヒヤリハット				
アクシデント (事故)	レベル3	ケガ、破損等具体的な損害が発生した事故				
	レベル4	他機関との連携が必要な事故				
	レベル5	救急対応、重大な事故				

レベル5の事例：8件

- 内訳：
- ・利用者の体調悪化により救急車を要請した事例（5件）
 - ・施設利用時の預かり品の授受・管理方法に不十分な点があり、預かり品の一部に紛失があったが、紛失時期や場所、原因等が不明であった事例→授受・管理方法を改善
 - ・生活ホーム利用者が居室内で突然死されていた事例→事件性無し（急性心不全）
 - ・サービス付き高齢者向け住宅の入居者が器物を破損した事例

II 計画の取り組みの概要

1、事業推進方針

「事業をより良く円滑に行うために、職員で共有・実践する推進マインドの形成」

- (1) 「多様な人材を活かし、知恵を出し合い助け合う」
- (2) 「自分たちで決めて、守る、実行する」
- (3) 「障がい福祉サービスの提供にとどまらない、社会福祉事業の推進」

2、法人の重点推進事項 「第5次経営改革プランの重点目標」

(1) 「I 面的支援体制整備」

事業

(2) 「II 地域に根ざした公益的取り組みの推進」

事業

(3) 「III 複合的課題に対する包括的支援の推進」

サービス

(4) 「IV 福祉人材の確保・育成・定着」

人事制度

(5) 「V 社会動向を踏まえた持続可能な経営基盤づくり」

内部管理

3、取り組み状況の要約

新型コロナの影響も落ち着き、社会の変化と共に法人事業も活発に動き出しています。各拠点施設では事業推進方針を再確認し、それぞれの持ち味や得意を活かし、主体的に活動する「元気な大田幸陽会」を目指しています。さらに制度や関係法令等の変化、社会のニーズに柔軟に対応していくために、事業の充実や安心・安全なサービスの提供、職員育成をはじめ、それらを支える内部管理機能の強化（人事・労務・財務等）など、課題も山積していますが、プロジェクトチーム（PT）など法人の横断的な取り組みを通して課題に向かい、職員育成と組織づくりの機会として注力していくことで成果を出しています。

(事業) 事業の拡充・地域との連携について

面的支援体制整備の推進では、新しいグループホームの建設計画が順調に進み、令和7年11月にオープン予定です。グループホーム事業については職員の確保、労務・勤務体制などの検討課題に勤務体制検討PTで取り組み、収入増、職員処遇の適正化という一定の成果を上げました。大田区立大森東福祉園は4月に分場を開設し、重症心身障害者通所事業を加えた多機能事業所としてスタートし、さわやかワークセンターは5月に西蒲田三丁目複合施設へ移転し、新しい建物で事業をスタートしました。重層的支援体制の強化に向けては、大田区の重層的支援会議へ参加して、関係機関や事業者とのネットワークの構築を図り、多職種連携によるチーム支援で、困難ケースへの対応力の向上に努めています。公益的な取り組みについては、地域行事への積極的な参画を通じて地域でのネットワークづくりを進めると共に、大田幸陽会の得意な面を活かして地域に貢献しています。

(サービス) 虐待防止と権利擁護、安心・安全体制の充実について

虐待防止・権利擁護については、標語「利用者と職員に敬意と感謝・安心安全なケアの現場・支え合う関係性を広げよう」を掲げ、法人ならびに各事業所の虐待防止・人権委員会を中心に、職員倫理等の基本事項を大切にされた取り組みを推進しています。安心・安全体制の充実に向けては、各事業所に感染症対策委員会を設置して感染症への適切な対応ができるように備えています。非常災害時への対策の一環として、BCPを活用した法人総合防災訓練を2回実施しました。

(人事制度) 人材確保と育成について

喫緊の課題である新卒職員の確保に向けて、新卒採用PTを発足させました。このPTは新卒で入職した若年層職員で構成され、若い柔軟な発想のもと採用活動を行い、令和7年度春の新卒内定者を7名確保しました。また、法人自主生産品の企画・販売促進チーム「MASSION'S」も法人を横断する多様な職員で構成され、各自の得意を活かした主体的な活動をしています。これらは事業効果を上げると共に職員育成の機会にもなっています。

(経営基盤づくり) 事業・サービス・人材・財務について

法人事業の安定継続を目指し、職員採用の強化、経営層と次世代の管理職、監督職の育成など組織体制の整備を進めています。また、産業医と連携して、職員の心身の健康を守る「健康福祉経営」の取り組みを推進しています。さらに、中長期収支計画の策定を視野に入れ、利用者情報管理システムの導入などICT推進による法人事務一元化、コスト削減など財務基盤強化に向けた収支改善の取り組みも進めています。引

き続き法人理念を念頭に、大田幸陽会第5次経営改革プランのもと、区の施策と連動した取り組みを通して大田区の地域福祉に寄与して参ります。

Ⅲ 具体的取り組みの報告

1、面的支援体制整備の推進

事業

(1) 相談支援を軸とした地域生活支援の取り組みと事業化

① 「大田幸陽会グランドデザイン」の検討と地域生活支援の充実

●大田幸陽会における地域生活支援センター構想の検討

⇒生活ホーム労務改善PT等で継続検討（職員の働き方・質の視点も含めた構想）次期経営改革プラン策定にあたり取り組みの方向性について要検討。

●新しいグループホームの建設について

⇒『（仮称）大森西第二幸陽ホーム』の建設計画の進捗

4月：建設予定地購入契約 5月：設計事務所契約

8月：東京都補助事業計画提出 建設予定地引き渡し（登記手続）

9月：東京都補助事業協議書提出

12月：東京都補助金内示

2月：建築業者入札 臨時理事会 大出産業(株)と工事契約

3月：工事着工

(令和7年度の予定)

8月：31日竣工（定員変更等の東京都への申請）

9月：引き渡し

11月：開所

●自立生活支援事業の充実

⇒令和6年4月1日より事業休止中であつたが、令和6年11月より事業再開。障害者生活ホームから大田区内で一人暮らしに移行した利用者1名（法人初）に対し、ケアサポート幸陽、生活ホーム、さんさん幸陽で連携して総合的支援を実施。さらに障害者の一人暮らしに対する地域の理解を進めている。

●法人運営のグループホームの体制整備

⇒グループホーム勤務体制検討PT開催11回（12月を除く毎月）

・検討議案は夜勤化の検討及び導入と効果

（実績）令和6年2月施行で就業規則を改正し、男性寮2ユニットで16

時間（非常勤は12時間）の夜勤を導入し軌道に乗った。女性ユニットについては人員体制不足で未実施。

（効果）4ユニットで夜間支援体制加算Ⅰを取得。

職員の手当額を変更し求人における訴求性向上、職員処遇の適化。

・運営体制の検討

（体制整備と職員育成）

法人他事業所職員の応援制度、ジョブローテーションの推進策ならびに地域生活支援事業に関する体験研修プログラムは継続検討する。

②相談支援事業のあり方検討

●相談支援から見えてくる課題の整理・発信

⇒相談支援体制の整備

- ・法人内への相談支援従事者現任研修、初任者研修の情報提供、計画的な従事者の育成を踏まえた受講の促進を図り、新兼務者・準ずる協力者との連携を強化した。
- ・相談支援従事者会の開催（5月・8月・11月・2月）
- ・相談支援従事者の法人内専従者、兼務者の円滑な配置循環を検討すると共に若手職員の育成について大田幸陽会キャリアパスを活用し進めた。

●相談支援を軸にした区や関係機関との連携強化

⇒外部機関、連絡会等や自立支援協議会の活動との連携強化

参加している会合等

- ・自立支援協議会 相談支援部会（10回）事例を通じた地域課題の抽出
 本会委員1名 部会委員1名（のみ委員）
- ・相談連絡会おおた（運営委員として参画）
- ・重層的支援会議（4事例・6回）
 他機関との連携事例等を共有し支援の幅を広げた。
- ・おおた成年後見センターから講師を招き、「成年後見制度」講座を開催した。（2月の相談支援従事者会と併せて開催）

(2) 区の施策に連動する地域資源を活用した面的支援体制の構築

①日中活動の場の整備

●区立施設の機能見直しに応じた多機能化等の事業展開

ア) 大森東福祉園の分場新設と重症心身障害者通所事業を加えた多機能運営開始

⇒大森東福祉園分場 開設（4月1日）

- ・分場：重症心身障害者通所事業（東京都地域施設活用型）開始
 対象者1名（5月20日）
- ・分場：入浴サービス開始 対象者1名（9月1日）

イ) 新井宿福祉園の改築に伴う仮園舎への一時移転に向けた準備

⇒移転改築に向けての準備

- ・仮園舎（大田区立大田生活実習所旧園舎）での運営
 期間：令和7年6月23日より2年間を予定
- ・近隣住民向け説明会実施（新井宿地域9月・萩中地域2月）
- ・大田区立大田生活実習所保護者向け説明（2月）

●移転

さわやかワークセンターの移転（5月15日）

「ふれあいはずぬま」から「西蒲田3丁目複合施設」（西蒲田3-19-4）への移転

●区と連携した、日中一時支援事業の運営検討

⇒上期実績

- ・大田区立大森東福祉園において、ケアサポート幸陽が日中一時支援事業を実施
 - ・契約者 14 名
 - ・受け入れ可能人数：4 名／日
 - ・運営日数：93 日（上期 45 日・下期 48 日）
 - ・利用延べ人数：292 名（上期 132 名・下期 160 名）
 - ・支援体制：2 名（ケアサポート幸陽）
- ⇒報酬改定への対応・サービス提供内容等の検討と連動
- 「時間に応じた生活介護基本報酬」に基づき時間延長した場合に見込まれる収入額（試算）と現行の日中一時支援料金収入額を比較検討した結果、時間延長の支援体制を整備しても経営的なメリットはない。（再検討が必要）

②就労支援の充実

●ネットワークを活かした就労支援、「おおむすび」の取り組み推進

⇒「就労支援勉強会」について 2 回開催（延べ 20 名参加）

- ・先駆的な雇用の場の見学会 4 月開催 参加者 12 名

「日本理化学工業（株）川崎工場」

- ・就労アセスメントシートを参考にした事例発表 9 月開催 参加者 8 名

⇒法人自主生産品企画・販売促進チーム「MASSION'S」

自主生産品の付加価値向上（ブランディング）、工賃（分配金）向上を目指し発足。PR、販売促進の企画推進が目的で MASSION'S 販売は自主生産品の PR の機会としている。構成職員の様々な経験や得意を活かす柔軟な運営やメンバー主体の体感型運営により、職員や事業推進の活性化の促進、人材育成の一翼を担った。

- ・構成メンバー：9 名（幹事会 4 回、全体会 4 回 開催）
- ・MASSION'S のロゴを作成。シールやバッチ等販売促進に活用。
- ・MASSION'S ブランドでの販売実績 合計 858,660 円

（内訳）

各事業所の園祭や法人全体研修会販売（10 回）660,660 円

その他の受注（10 件）198,000 円

- ・外販用の陳列棚・カゴ、看板、ユニフォーム（エプロン）の購入
- ・法人全体研修で活動紹介発表

●令和 6 年度 就労支援系事業所 平均工賃月額（単位：円）

事業所名	令和 6 年度	令和 5 年度	増減
まごめ園（B型）	30,234	27,484	2,750
のぞみ園（B型）	53,323	53,630	-307
さわやかワークセンター（B型）	54,706	51,866	2,840
さわやかワークセンター（移行）	61,011	54,420	6,591
しいのき園（B型）	36,519	35,389	1,130
志茂田福祉センター（B型）	15,400	14,546	854

小数点以下四捨五入

※就労継続支援 B 型工賃計算式

(新算定方式)

平均工賃月額＝工賃支払総額÷平均利用者数*÷12 月

*平均利用者数＝年間延べ利用者数÷年間開所日数

③分野を越えた連携による支援体制の展開

●地域ネットワーク構築に向けた地域資源の把握と活用

⇒大田区の重層的支援体制整備への貢献

・大田区重層的支援会議への出席：

(さんさん幸陽と通所先事業所) 6 回 4 ケース

大田区立大森東福祉園 1 ケース 1 回 のぞみ園 1 ケース 2 回

まごめ園 1 ケース 2 回 大田区立池上福祉園 1 ケース 1 回

(単独) ケアサポート幸陽 1 ケース 1 回

大田区多機関連携調整担当との関係構築

・居宅訪問等を通して本人・家族のニーズや課題を捉え、サービス（障害福祉、介護保険等）利用に繋ぐとともに、医療、成年後見、就労先企業などとの多職種連携によるチーム支援を実施。

●「地域生活支援に関するグループ事例検討会」

⇒地域事例からミクロ・メゾ・マクロの視点で考えていく力を養う。

スーパーバイザーに当法人の山崎美貴子・理事（明治学院大学・神奈川県立保健福祉大学名誉教授・東京ボランティア・市民活動センター所長）を迎え、ラナハウス西糀谷 3 事業（障害者生活ホーム・ケアサポート幸陽・さんさん幸陽）と糀谷地区の大田区立しいのき園が連携して開催。

・目的 i 継続的・意図的に利用者の生活と地域資源・ネットワーク・私たちの仕事について学び合う

ii 気づきの共有から糀谷地区の地域づくりに資する方法を探る。

・開催実績

第 1 回 6 月 7 日 「地域で暮らす A さんを支える～ご本人が望む生活を叶えるために」

第 2 回 9 月 20 日 「妻亡きあとの幸せ探し～大田区で暮らしてきた A さんのこと」

第 3 回 3 月 4 日 「この地域で暮らし続ける～トラブルからのリカバリー」

事業

2、地域に根ざした公益的取り組みの推進

(1) 地域の一員として、地域住民と共に地域の取り組みに参画

①地域の多様な団体等とのネットワークづくりの推進

●地域への施設・物品の貸し出し継続と、地域行事等への参画

⇒地域行事への参画をはじめ、施設の行事や取り組みを地域に開放して人的交流を活性化し、ネットワークづくりを推進

<各事業所の地域に根ざした公益的取り組み（主なもの）>

・のぞみ園

第 11 回いつつのわふれあい祭り（実行委員としての取り組み・太鼓クラブ演奏等参加）

第 24 回いつつのわ幸陽祭（11 月）開催（事務局として大田区立つばさホーム前の浦と協働）

フードバンク食材の配送支援（毎月）

「切手を一膳のご飯に 米 1 トンプラン」（区社協）への協力

大田区立東蒲中学校職場体験生 2 名受入（10 月）

大田区立大森第四小学校第 2 学年「生活科・まちたんけん」受入（11 月）

京浜急行バス（株）および関係機関としいのき園と共に意見交換会（2 回）

利用者向けマナー講習会を実施（1 回）

子ども食堂イベント「病院たんけんシールラリー」（3 月）（主催：こども食堂 moi! 会場：東京労災病院）

・まごめ園

第 31 回まごめ幸陽祭（9 月）開催（事務局としての取り組み）

行事参加 馬込文士村大桜まつり、洗足池春宵の響き、登志子地藏祭り、秋祭り、地元町会子ども祭り、育成会チャリティバザー、文化センターまつり、おおむすび連絡会販売員協力

自治活動への参加 地元町会定例会（毎月）

地域防災会議（3 回）・合同防災訓練（6 月）

地域力推進馬込地区委員会（9 回）

町会回覧物の仕分け・配布作業 近隣の団地の清掃活動

近隣町会年末夜警

近隣共同保育所に餅つきセット貸出

「切手を一膳のご飯に 米 1 トンプラン」（区社協）への協力

・さわやかワークセンター

ふれあい蓮沼祭り実行委員会事務局としての取り組み

フードバンク食材の配送支援 地元町会の美化活動

防災活動拠点会議への参加、地域防災訓練（副隊長）の準備協力

「しゅわしゅわさわさわ」だんだん手話サークルとさわやかワークセンター共催プロジェクト。地域の交流の場づくり（毎月 1 回）

大森第七中学校の職場体験受け入れ（7 月）

蓮沼中学校の職場体験受け入れ（11 月）

・大田区立しいのき園

「福祉のまち糶谷」第 10 回夏のお祭り・第 22 回しいのき園ふれあいまつり（8 月）の同時開催

近隣の都営住宅の清掃活動 地域防災活動への参加

糶谷地区福祉施設連絡会への参加（2 回）

糶谷文化センターまつりへの参加 さぽーとぴあへ玉入れセット貸出

京浜急行バス（株）および関係機関とのぞみ園と共に意見交換会（2 回）、利用者向けマナー講習会を実施（1 回）

「糶谷のまちウォークラリー」の周知ポスターを大森南一丁目公園および

北糀谷小学校に掲示（糀谷・羽田地域福祉課の依頼）

・ 大田区立志茂田福祉センター

施設見学の受け入れ（7月特別支援学校）

自主生産品を活かした交流（シニアステーション新蒲田、新蒲田一丁目自治会、社会を明るくする運動六郷地区推進委員会、六郷文化センターまつり、新蒲田一丁目複合施設まつり、六郷ふれいあいフェスタ等）

大森第七中学校の職場体験生受入れ（7月）

大森第十中学校の職場体験生受入れ（9月）

矢口中学校（特別支援学級）の職場体験生受入れ（9月）

・ 大田区立新井宿福祉園

新井宿地区スペシャルデー実行委員会の取り組み

環境美化活動、近隣商店街を積極活用した利用者活動

新井宿地区民生委員児童委員との煎餅作業協力（週1回）

大森第三中学校の職場体験生受入れ

福祉と文化と医療のまちのスペシャルデー（11月開催）

入新井第二小学校交流及び学校訪問（11、12月）

新井宿地区民生委員児童委員との懇談会（3月）

・ 大田区立池上福祉園

いけいけハートフルフェスタ実行委員会事務局の取り組み

多目的ホールの貸し出し（15回・247名）

「笑いヨガ（講師：民生委員さん）」の開催による交流：1回

池上まつり外販参加（8月）

アートによる地域づくり活動への参加

アルミ缶・ペットボトルキャップの回収。公園でのごみ拾い（随時）

社会福祉協議会・民生委員児童委員協議会・地元団体との協力による地域会議への出席（2回）

・ 大田区立大森東福祉園

大森本町複合施設連絡会参加（4月・10月・2月）

地域教育連絡協議会参加（6月・2月）

第40回大森東福祉園まつり（7月）開催（事務局としての取り組み）

大森東一丁目団地自治会主催「団地祭」参加（8月）

大田区地域包括支援センター平和島「民生委員懇談会」へ参加（8月）

高齢者健康体操教室へのホール貸出し（月2回 24回）

大森東一丁目団地自治会へのホール貸出し（2回）

大森東一丁目団地6号棟自治会へのホール貸出し（1回）

大森東一丁目団地東一健友会へのホール貸出し（2回）

・ 障害者生活ホーム（ラナハウス西糀谷）

糀谷地区福祉施設連絡会への参加3回

避難行動要支援委員会（地元町会）への参加

大田区自立支援協議会地域生活部会への参加

大田区就労促進担当者会議への参加

大田区障がい者グループホーム連絡会への参加

地元町会の町内一斉清掃、防災訓練、行事への参加

福祉のまち糶谷一斉打ち水（8/18）

「しいのき園ふれあいまつり」にブース出店参加（8/18 ジャンケン駄菓子屋、プラ板キーホルダーコーナーで地域貢献）

「こども SOS の家」に登録し、地域の見守り活動を開始（2月～）

11月より余暇活動（えがおクラブ）再開。2月からは外部講師を招き「健康ヨガ」実施。

・ケアサポート幸陽

移動支援従業者養成研修事業の無償実施（4回開催・受講者数 63名）

会場：大田区立しいのき園

第1回 5月3日～5日 受講者数 19名

第2回 7月13日～15日 受講者数 18名

第3回 9月14日～16日 受講者数 12名

第4回 12月8日・15日・22日 受講者 14名

大田区障がい者総合サポートセンター主催の養成研修への講師派遣（10月12日・13日・19日で法人職員4名）

・大田区立 つばさホーム前の浦

多目的室の貸出（12回、フードパントリー事業団体）

第24回いつつのわ幸陽祭（11月）開催（事務局として大田区立つばさホーム前の浦と協働）

●地域福祉の担い手育成として、ボランティア・福祉実習等の積極的な受入実績

	社会福祉士		介護等体験		人事院・都		保育その他		合計	ボランティア
	(〇名)	(延〇日)	(〇名)	(延〇日)	(〇名)	(延〇日)	(〇名)	(延〇日)	(〇名)	(延〇名)
のぞみ園	1名	延8日	0名	延0日	0名	延0日	23名	延93日	24名	延64名
まごめ園	0名	延0日	0名	延0日	0名	延0日	16名	延52日	16名	延175名
さわやかワークセンター	4名	延64日	0名	延0日	0名	延0日	46名	延68日	50名	延45名
しいのき園	2名	延32日	2名	延10日	0名	延0日	4名	延25日	8名	延57名
志茂田福祉センター	0名	延0日	0名	延0日	0名	延0日	1名	延12日	1名	延11名
新井宿福祉園	1名	延23日	0名	延0日	0名	延0日	8名	延28日	9名	延494名
池上福祉園	7名	延118日	0名	延0日	0名	延0日	4名	延33日	11名	延210名
大森東福祉園	3名	延37日	5名	延25日	0名	延0日	7名	延35日	15名	延329名
障害者生活ホーム	0名	延0日	0名	延0日	0名	延0日	6名	延6日	6名	0名
合計	18名	延282日	7名	延35日	0名	延0日	115名	延352日	140名	延1385名

(2) 大田区社会福祉法人協議会をはじめ、他法人等と連携した取り組みの推進

①「おおた福祉ネット」の幹事法人として法人間連携の取り組みを推進

②「おおたスマイルプロジェクト」「おおた福祉カレッジ」等法人連携の活動に参画

③大田区社会福祉法人協議会を中心とした区内の公益活動を推進

●法人協と協働した地域行事などへの積極的な参画

⇒幹事会 5回（5月・8月・10月・11月・1月）コアメンバー会議（3月）

⇒エリア会議等

(大森)

エリア会議 3回 (6月・11月・3月)
 まつりの打合せ 6回 (5月・7月・8月・10月・11月・3月)
 研修の打合せ 6回 (6月・8月・9月・10月・12月・2月)
 法人施設情報カタログ 1回 (3月)

(糞谷羽田)

エリア会議 3回 (6月・9月・3月)
 コア会議 1回 (7月)

(蒲田)

蒲田エリア会議 1回 (10月)

⇒各エリアでの参画行事

(大森) 「こころ彩るほくほく祭り」 (10月19日開催)
 (自主生産品の「MASSION'S」販売と職員の参加協力)
 (大森) 「令和6年度地域福祉フォーラム」で「こころ彩るほくほく祭り」の取り組みを発表。
 (糞谷羽田) 「いつつのわ ふれあい祭り」 (10月20日開催)
 (糞谷羽田) 「病院たんけんシールラリー こども食堂 moi×大森労災病院」 (3月30日開催) に協力参加。のぞみ園のアクセサリーをラリーの景品として提供。当日は職員が参加協力。

(3) ガイドヘルパー養成研修事業の継続と他団体等との連携

① 移動支援従業者 (ガイドヘルパー) 養成研修の充実と人材育成を通じた他団体との連携推進

⇒大田区障がい者総合サポートセンター主催の研修 (10月開講) に講師派遣依頼があり、法人より4名が講師として協力。

⇒移動支援従業者養成研修開催実績 (再掲)

第1回 (5月) 受講19名の内、池上福祉園職員2名受講

第2回 (7月) 受講18名の内、生活ホーム職員2名受講

第3回 (9月) 受講12名、法人内職員の受講なし

第4回 (12月) 受講14名の内、つばさホーム前の浦職員1名受講

※受講要件を見直し、日本語能力試験N2以上の日本語能力のある者に拡大した。

4、分野横断的な連携による複合的課題に対する包括的支援の推進

サービス

(1) 利用者の人権尊重と権利擁護の推進

① 「成年後見制度」の活用に向けた研修等の充実

⇒相談支援従事者会で「おおた成年後見センター」から講師を招き「成年後見制度」講座を開催 (2月 参加者11名)

② 虐待防止・権利擁護の取り組み推進

● 虐待防止推進体制の再構築 (虐待防止対応要綱に基づく)

- ⇒法人虐待防止・人権委員会座長会の開催（各月1回）
 通報案件、対応の進捗状況等の共有及び各事業所の取り組みや課題を共有して、リスクヘッジや危機管理意識を高めながら、人権意識の向上、虐待防止（対応）に取り組んだ。
- ⇒事業所虐待防止・人権委員会、身体拘束適正化委員会の開催（各月1回）
 法人内、事業所内の事例対応や検討状況等の情報共有を図るとともに、虐待防止と権利擁護、身体拘束等適正化に係る取り組みを推進した。
- 「職員倫理規定」「職員倫理規程に関する行動指針」の見直しと日常業務への反映
 - ⇒相模原事件にNO！の取り組み推進「理事長メッセージ」の発信。
 - ⇒令和6年度 法人虐待防止・人権委員会 標語の職員周知
 - ⇒「ピンクのシャツデー」※のキャンペーン周知と参加（2月最終水曜日）
 ※（カナダが発祥のいじめ反対運動。ピンクのシャツ等を着用し「いじめ反対」の意思表示をする）

<p>標語</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎利用者と職員に敬意と感謝 ケアする職員【自分（たち）自身】をケアしよう・ケアし合おう ◎安心安全なケアの現場 ケアする現場【私たちの環境】をケアしよう ◎支え合う関係を広げよう 『ケアする人をケアする』重層的な体制をつくりだそう
--

- 虐待防止研修等の重点実施
 - ⇒新人職員向け虐待防止・権利擁護研修の実施（6月）
 - ⇒サポーターズカレッジの活用（各事業所で随時）
 - ⇒外部機関の虐待防止等の研修への職員の参加促進
 - ⇒各事業所での虐待防止研修の実施（12月～2月）
- (2) 高齢化・重度化に伴う複合課題に対応する包括的支援の推進
 - ①複合的課題への区や他法人等と連携した取り組みの推進
 - ⇒重層的支援体制の整備の推進
 - ・利用者が65歳を迎えてからも、利用し慣れた事業所が支援を継続するための方法を検討
 - ・介護保険サービスへの参入に関する研究（ケアマネジメント）
 - ・共生型サービス事業所の見学
 - ・精神障がい者支援の研究
 - ・一般相談支援事業への参入に関する研究
 - ③障がい福祉サービスのニーズに対応した新たな事業への取り組み
 - ⇒新たな障害福祉サービスの検討・実施
 - ・新規事業検討は未実施
 - ・重層的支援体制の整備に応え、重層的支援会議や地域包括支援センター主催の「地域ケア会議」への参加をはじめ、法人の「地域生活支援グループ

事例検討会」の開催などを通じ、他事業連携のネットワークづくりを推進

(3) 安心・安全体制の充実

①リスクマネジメント運営方法の改善

●危機管理マニュアルの見直し（継続）

⇒支援統括責任者会の取り組み

- ・看護師会と連携して服薬管理マニュアルのひな型を作成・共有

●感染症対策の徹底と対応マニュアルに沿った対策の実施

⇒感染症対策委員会の設置（各事業所で3か月に1回の開催）

- ・事業所で感染症対策に関する研修を実施
- ・各事業所の運営規定に感染症対策を加えて改正した（10月）
- ・法人本部BCP「感染症対策版」を策定

●施設等の防犯対策、安全体制の充実（継続）

⇒自然災害対応、感染症発生状況等について

- ・法人全体状況を情報共有するシステムを法人グループウェア内に構築し運用継続。

⇒BCP 関連

- ・BCPを活用した全事業所が参加する法人総合防災訓練を2回実施
災害伝言ダイヤルや法人のグループウェアを利用した連絡訓練
（第1回）地震災害を想定した訓練を実施（4月）
（第2回）水害を想定した訓練を実施（9月・2日間）
- ・非常時の「連絡網サービス」として「さくら連絡網」の導入について、のぞみ園、本部、BCP検討PTメンバーで試行。（まごめ園はR7.4月以降）
- ・法人本部BCP（感染症対策版）の策定
- ・非常用電源等整備促進事業補助申請及び機器配備（のぞみ園、障害者生活ホーム）

●環境の変化や設備等の経年劣化による事故予防策の構築

⇒各事業所における設備の点検と維持管理の本部サポート

・生活ホーム

大型給湯器更新見積

第3幸陽ホームハンガードア点検

大森西幸陽ホーム居室窓枠、階段窓枠の補修

・ケアサポート幸陽

複合機の更新及びリース会社選定

・池上福祉園

蛍光灯からLED照明の変更工事見積

スライドドア業者との改修工事調査打合せ

・大森東福祉園

エアコン清掃 空調機器フィルター清掃の見積

・しいのき園

50型大型給湯器の更新工事検討

ハイエース（作業車）の入れ替え準備

・まごめ園

2階全室エアコン故障による緊急一次対応による復旧
新規開設時からの課題に対する対応～

→

- * 1階空調設備天井点検口3カ所の未設置による課題の一次対応
- * 食堂・事務室内のロスナイ換気扇フィルター清掃のための点検口を新たに設置
- * 多目的ホール内の空調設備点検のための空調ダクト入り口パネルを大型に交換。

* ロスナイフィルター交換、フロンガス点検

ビジネスシュレッダーの導入・廃棄

ホワイトボード修繕

事務室ハンガードア、多目的ホール壁の修繕

グリストラップ仕切り板修繕

排水溝高圧洗浄

・さわやかワークセンター

第一作業室の特注テーブルカウンター取付工事

什器備品等搬入/電話機・ネットワーク設備移設

複合機の更新・ビジネスシュレッダー導入

ふれあいはずぬま廃棄物品処理の対応

無停電電源装置のバッテリー交換

自動販売機入れ替え

②非常災害時の対策推進

●福祉避難所訓練、非常時災害想定訓練等の実施

⇒大田区福祉避難所検討会への参画

- ・ 構成員として担当施設長が参加し、情報収集・連絡調整等で取り組みを推進した。

●BCPの策定と運用訓練の実施

⇒BCPの策定

- ・ 法人本部の感染症対策版を策定

⇒BCPを活用した、法人総合訓練を全2回実施

- ・ 全事業所参加、災害用伝言ダイヤルや法人グループウェア利用による連絡訓練
- ・ 第1回:令和6年4月25日 震災想定
- ・ 第2回:令和6年9月4日～5日 水害想定

⇒安心への取り組み

- ・ 非常時の「連絡網サービス」として「さくら連絡網」の導入について、のぞみ園、本部、BCP検討PTメンバーで試行。(再掲)
- ・ 非常用電源等整備促進事業補助申請及び機器配備(のぞみ園、障害者生活ホーム)(再掲)

③苦情対応

- 苦情対応研修の重点実施（サービス提供ガイドライン実施結果から）
→未実施（外部の研修への参加は除く）

- 「苦情解決制度に関する要綱」に基づき適切に対応

苦情解決制度第三者委員

任期：令和7年（2025年）3月1日～令和9年（2027年）2月28日

姫井 葉子 弁護士

猪狩 美知子 大森西地区民生委員児童委員協議会会長

→苦情解決制度に関わる事案はなし。

4、福祉人材の確保・育成・定着

人事制度

(1) 事例発表・事例検討等を通じた利用者支援の充実と人材育成

①スーパーバイザーの養成

- 障がい者支援をコーディネートできる人材の育成

⇒「アセスメントを深めるピア事例検討会」

事例検討会「深谷塾」（事例検討を通して支援スキル、チームワークが向上するようにコーディネートできる人材の育成）は、講師の深谷美枝先生（明治学院大学教授）のご逝去に伴い、利用者理解と支援者間のケアや共感を目的にした、「アセスメントを深めるピア事例検討会」に変更した。

・対象職員 13名

・「進行と観点に関する台本」の作成でファシリテーターの能力向上を図った。

・開催日

第1回 7月18日(木) 事例提供：つばさホーム 参加者 11名

第2回 9月19日(木) 事例提供：新井宿福祉園 参加者 8名

第3回 11月28日(木) 事例提供：しいのき園 参加者 11名

第4回 1月16日(木) 事例提供：池上福祉園 参加者 12名

第5回 3月13日(木) 事例提供：さんさん幸陽 参加者 11名

②事業所内での日々のサービスを通じたサービス管理の充実

- 事例検討会

⇒事業所の事例検討会に「アセスメントを深めるピア事例検討会」メンバーと相談支援専門員が一緒に参加する取り組み

・開催日

第1回 8月22日(木) 志茂田福祉センター 参加者 4名

第2回 10月28日(月) さわやかワークセンター 参加者 5名

第3回 12月18日(水) しいのき園 参加者 3名

第4回 2月28日(金) まごめ園 参加者 3名

③法人内研修

- 階層別（グレード・ステップ）等の研修の実施

⇒階層別研修

- ・採用時研修（4月）※4月以降新規採用時にも随時実施 36名
 - ・原点研修及び新人職員向け虐待防止・権利擁護研修（6月） 32名
 - ・新規職員交流・ブラッシュアップ研修（8月）25名（11月）23名
 - ・考課者ミーティング（管理職研修）（12月）15名
- ⇒内定者研修（令和7年4月採用）（12月）5名（2月）7名（3月）7名
 研修委員はじめ、採用PT等の若手職員が参加し、親しみやすい雰囲気をつくり、内定者の入職への不安解消とモチベーション向上に繋がった。
- ⇒チーミング（個々の参画を促す）研修（※階層別研修に取り入れ実施）
- ・ミドルスタッフ昇格者研修（11月） 20名
 - ・シニアスタッフ①研修（12月・2回）24名
- ⇒マルチモーダルコミュニケーション※研修
 （※対人・ケアのコミュニケーション）
- ・（8月）16名（10月）6名（12月）応用編12名
- ⇒第22回法人職員全体研修会 令和7年2月8日（土）（池上会館）210名
 （主な内容）法人の取り組み報告 事例発表、事例検討、活動発表、懇親会

（2）働きやすい福祉の職場宣言法人としての実践

①宣言内容の常時確認とブラッシュアップ

●働きやすい福祉の職場宣言への反映

⇒働きやすい職場の風土づくり

- ・職員処遇等の各種制度の整備

（※詳しくは21ページ4－（4）－①及び24ページ5－（2）－②を参照）

- ・職員相談窓口体制の周知及び運用の継続。
- ・産業医契約に基づく、衛生委員会の実施（池上）、休職から復職等への職員サポート体制を整備した。
- ・産業カウンセラー（相談員・非常勤）の配置
- ・「働きやすい福祉の職場宣言」の継続更新手続き実施（大田区立つばさホーム前の浦が訪問調査を受けた）

②取り組み内容の法人内外への発信力アップ

●働きやすい福祉の職場宣言の内容PR

⇒職員採用活動で法人のPR

●職員採用（確保）について

年々、求人市場は求職者優位になり、職員採用・確保が非常に困難になってきている。市場状況を捉え、法人の強み、働く職員状況、待遇、育成キャリアパスなど求職者が求める情報を工夫して伝え、選ばれる法人となるべく努めた。また、新卒内定者研修を3回実施した。（再掲）

新卒採用PTのメンバー（若年職員）が参画し、親しみやすい雰囲気をつくり、内定者の不安解消や入職へのモチベーション向上に繋がった。

⇒令和7年4月採用内定者は 新卒7名、既卒採用10名

⇒採用活動の取り組み

- ・オープンカンパニー 4名
- ・インターンシップ（5日間）3名

- ・令和7年3月卒 法人採用説明会 21回 31名
- ・新卒向け合同説明会への参加（マイナビ、社会事業大学等）6回

(3) 法人理念・ミッションとキャリアパスの連動

①法人で働く魅力の発信（採用パンフレット等への反映）

●法人独自の現場体験型見学会等の実施（オープンカンパニー）

⇒新卒採用PT活動

- ・新卒者採用内定式（10月）企画・運営
- ・就職合同説明会への参加
- ・事業所での利用者と一緒に活動（作業等）の体験時フォロー
- ・新卒採用PTメンバーの若年層の職員との座談会
- ・採用活動の企画・立案

●職員への法人メッセージの周知と理解促進

⇒法人本部からの発信

- ・サイボウズ（法人情報共有グループウェア）トップ画面に掲載
- ・津久井やまゆり園事件が発生した日（7月26日）を踏まえ、理事長・専務理事から職員向けメッセージを发出
- ・理解促進については人材開発・サービス推進室で人材育成の観点で研修等を検討

(4) 区の福祉人材センターや他法人等と連携した人材の確保・育成・定着

①育成・定着対策の推進と処遇の強化

●社会福祉士等資格取得に向けた職員支援の促進

⇒資格取得支援・国家資格取得奨励金、区内転入奨励金の継続的な運用。

⇒区内転入助成金を改定し区内転入奨励金とし、対象者の枠の拡大とともに精算式の助成金から定額支給の奨励金に改めた。

⇒職員処遇改善のための都障害福祉サービス等職員居住支援特別手当事業の申請準備を進めた。

●正規職員離職率目標10%以下の設定と定着のための工夫

⇒令和6年度正規職員の離職率 10.6%（前年度12.6%）前年比2%減少

離職者：合計24名（内訳：男性15名 女性9名）

⇒職員のやる気の下支え

- ・資格取得支援・国家資格取得奨励金制度の運用
- ・職員居住支援特別手当の申請準備（都の制度活用）

⇒職員の心身の健康の向上

- ・産業医の活用（池上福祉園衛生委員会）休職から復職までのフォロー体制の整備（健康経営の観点）
- ・ストレスチェックの法人導入について、令和6年度の池上福祉園実施を基に検討した。
- ・職員の健康診断結果の本部一括集約、産業医の確認、2次検査受診の勧奨、必要に応じた産業医面談等の仕組みを構築して、次年度から運用開始する。

●キャリアパスを活かした人事給与制度のブラッシュアップ

⇒考課者研修の実施（12月）

●次世代管理職、財務会計スタッフを育成するジョブローテーションの構築

⇒中期的な計画を踏まえて、事務スタッフ・管理職育成のための異動を検討

・10月1日付けで異動2名、採用1名

（※事務職については更に令和7年5月1日付異動を予定）

・令和7年4月1日付で支援係長2名を施設長へ昇進異動

●区の福祉人材センター等と連携した事業の推進

⇒令和6年度の福祉人材センター主催の研修への職員派遣（参加）

- ・第1回複合課題対応研修（5月） 1名
- ・第1回 福祉従事者フォローアップセミナー（6月） 3名
- ・大田区福祉人材育成スキル向上セミナー（7月） 2名
- ・第1回大田区福祉人材コミュニケーションスキル向上研修（8月） 2名
- ・第3回 複合課題対応研修（9月） 1名
- ・大田区福祉人材定着支援セミナー（10月） 5名
- ・大田区福祉人材育成スキル向上セミナー（全2回10月・12月） 1名
- ・令和6年度第4回 複合課題対応研修（11月） 4名

②環境の変化と当プランに対応した研修内容（コンテンツ）の見直し

●社会状況の変化等を反映した研修づくり

⇒感染症への適切な対応のため、予防、対策について採用時研修内容に組み入れた。（各事業所感染症対策委員会と連動）

③法人の人づくり推進

●求める職員（人材）像及び職員行動指針の再整理と職員への浸透

⇒実践の中で育成

法人事業推進方針

○「多様な人材を活かし、知恵を出し合い助け合う」

○「自分たちで決めて、守る、実行する」

○「障がい福祉サービスの提供にとどまらない、社会福祉事業の推進」に則り、法人自主生産品の企画・販売事業「MASSION'S」や「職員採用PT」の発足など、法人を横断した多様な職員構成による主体的な実務実践活動（チームング）を通して職員の活性化を図り「かかわるひと、つながりひと、つくりだすひと」（求められる人材像）の育成を目指している。

・「MASSION'S」（法人自主生産品の企画・販売促進チーム）

構成メンバー：9名（幹事会4回、全体会4回 開催）

法人内施設まつりにMASSION'Sブランドとして出店しPRした。

・「新卒採用プロジェクトチーム（PT）」

構成メンバー10名 例会11回開催（5月から毎月1回）

学生向け合同説明会への参加、内定式の企画、運営などに取り組んだ。

④ 福祉人材の育成（実習生の受け入れ）

⇒社会福祉士実習：18名 介護等体験：7名 保育・他：111名

（各事業所の受け入れ数、詳細は14ページの表を参照）

⑤ホームページのリニューアル、SNS、動画を新たに活用して法人の事業や魅力を情報発信し、人材採用活動を活性化して人材確保につなげる。

⇒情報発信の活性化

- ・ホームページ内の職員採用サイトの作成準備を進めている。
- ・採用用の公式LINEを開設（4月）し、新卒学生求職者や採用内定者とのコミュニケーションを活性化した。

内部管理

5、社会の動向を踏まえた持続可能な経営基盤づくり

(1) 福祉サービス供給体制の整備・充実に向けた持続可能な財務基盤と組織づくり

①本部機能・各種会議体の一体的運営方法等の検討・実施等

●内部管理体制の整備に関する基本方針に基づく検証と見直し

⇒法人事務一元化推進

- ・効率性、コスト軽減等に向け検討継続中（ICTの活用等）
- ・労務検討PTにて部分的に一元化できるように計画

⇒新卒採用PT職員主体の柔軟な取り組み

⇒法人の「ブランディング」を踏まえた法人組織のあり方検討の継続

●法人運営に携わる人材の確保と育成

⇒本部事務局へ新事務長就任（昇進）と事務職員の採用による体制強化

⇒世代交代を見据えた経営層と次世代の管理職の育成

- ・中期的な計画を踏まえての職員異動を実施
- ・事務スタッフ育成のための異動を検討し、10月1日付けで異動2名、採用1名（※事務職については更に令和7年5月1日付異動を予定）
- ・本部体制強化の為、事務員を2名採用（2月・3月）
- ・令和7年4月1日付で支援係長2名を施設長へ昇進異動（内示済）

●部門別、地域別に統括管理する組織の検討

- ・次期経営改革プラン策定時に検討

②持続可能な事業計画・事業展開

●安定した収入確保を目指し、各拠点での取り組みやアイデアなどの積極的な情報共有の促進

⇒定期開催する事務担当者会を中心に情報共有、検討、推進

- ・事務担当者による、各事業所の会計分析の提出（毎月・精度向上取り組み）
- ・都居住支援特別手当申請取得（職員待遇向上） R6.12より支給開始→継続
- ・処遇改善手当の配分規定の見直し（職員待遇向上） R7.4.1より新案施行予定

●中長期収支計画の策定に向けた、収支改善検討会の定期開催

⇒次期継続

●報酬改定による事業・サービス提供内容の見直し・検討・研究

⇒プロジェクトチームで検討

- ・報酬（制度）検討PT（7回）
- ・グループホーム勤務体制検討PT（11回）

→夜勤化の導入・夜間体制加算Ⅰを取得し、職員の手当額を変更し求人

における訴求性向上、職員処遇の適正化を図った。

●運営規定・利用契約書等の内容の見直し

⇒運営規程の一部改正（感染症・BCP）

●第6次経営改革プランの策定準備

⇒令和6年度法人本部事業報告（中間）作成と連動させて5次プランの取り組みをまとめる作業を開始した。令和6年度事業報告（決算）に基づき5次プランの最終年度の見込みを立て、第6次経営改革プランの具体的策定を進める予定

(2) ICTを活用した効率的な利用者支援と働きやすい環境の整備

①ICTを活用した効率的な利用者支援と事務の効率化の推進

●利用者支援のICT化推進

⇒業務効率化

- ・利用者情報管理システム（ほのぼの more）の段階的導入と運用
まごめ園、のぞみ園、さわやかワークセンター導入・運用開始
- ・工賃計算効率化ツール（チェックの仕組み）検討・作成
- ・請求データチェックの仕組み検討・作成
継続検討（ほのぼの more にて一部対応済）
- ・無線LAN環境整備
さわやかワークセンター、しいのき園、池上福祉園 整備実施
- ・勤怠ソフトのデータ活用
障害者雇用納付金制度申告申請書作成、高年齢者、障害者雇用状況報告に活用
- ・人事ソフト（カオナビ）による人事考課実施
- ・カオナビの更新とアップデート（使いやすくする）

②多様な働き方に対応した人事給与制度の改正

●法改正や社会の動向に柔軟に対応する人事制度の改正

⇒人事制度等の改正

- ・各事業所からの労務関連の質問事項を労務PT内で検討し改善につなげた
- ・労基法改正を受けての育児・介護休業規程の改定（3月理事会承認済み）及び職員周知実施
- ・パートタイム・有期雇用労働法に対応した、雇用契約書の修正
- ・次年度以降の法改正（対応準備）→令和7年8月に労基法研修2名計画
- ・労基法改正を受けた育児・介護休業規程の改定準備

③職員の安全と健康対策の推進

●ワーク・ライフ・バランスの推進

⇒勤務内容の効率化と超過勤務の削減に向けた取り組み

- ・業務効率を上げる工夫（間接業務簡素化、計画的業務遂行・ICT化）
- ・ノー残業デー（職員主体でルール作り）

⇒超過勤務としての取り扱いが未整備な業務の整理、休憩時間の設定等の課題検討継続

●育成面談の充実と職員のメンタルヘルス対応の推進

⇒育成面談

- ・キャリア形成シートの面談（年2～3回）
- ・自己申告書についての面談（年1回）
- 職場の安全衛生（事故防止と健康維持）の推進
 - ⇒衛生推進者の選任、周知、掲示
 - ⇒産業医の周知と連携の工夫
 - ・産業医と本部、各管理者が連携した休職者復職支援の仕組みの構築
 - 復職面談の実施（13名）※延べ37名（小堀俊一 産業医）
 - ・メンタル疾患を未然に防ぐ取り組みとして、大田区立池上福祉園でストレスチェックの実施（法人全体での実施を視野に入れ、諸規定等を整備中）
 - ⇒感染症対策委員会の設置（各事業所）※再掲
- 職員相談窓口の周知
 - ⇒風通しの良い職場づくりの継続
- (3) 福祉サービス第三者評価の受審について
 - 受審事業所 さわやかワークセンター 評価機関：(株)日本の福祉ネット
- (4) 個人情報保護
 - 「個人情報保護規程」及び「特定個人情報取扱規程」に基づき適切に対応
- (5) 指導監査・監査等
 - 社会福祉法人指導連絡会：大田区福祉部福祉管理課法人指導担当主催
 - 大田区役所本庁舎にて対面開催 本部より2名出席
 - ・第1回：令和6年8月7日（水）14時～
 - ・第2回：令和7年2月4日（月）10時～
- (6) 寄附の申し出・受領（指定用途：法人のため）
 - ・3件

6、会議等の開催：

- (1) 定款細則で定める会議等
 - ①経営会議 13回＝定例12回＋臨時1回
 - ②法令遵守推進委員会 21回＝定例12回＋臨時9回
 - ③懲戒委員会 2回
- (2) 組織規程で定める機関及び会議体の会議等
 - ①第5条関係
 - ア)法人事業企画調整室実施関係 48回
 - 内訳：
 - ・全体会 12回
 - ・居住の場建設整備部門 23回
 - ・法人事業の多機能総合課部門 4回
 - ・BCP（事業継続）関係 9回
 - イ)人材開発・サービス推進室 12回
 - ②第3条関係
 - ア)拠点施設長会 12回（リモート併用）
 - イ)職階・職種別会議

・ 支援統括責任者会議	11 回
・ 法人事務担当者会議	9 回（リモート併用）
・ 看護師連絡会	3 回
・ 栄養士連絡会	3 回
・ 相談支援従事者会	4 回
③ 専門委員会	
ア) 研修委員会	7 回（リモート併用）
イ) アセスメントを深めるピア事例検討会（旧深谷塾）	5 回
事業所事例検討会への参画	4 回
ウ) 法人虐待防止・人権委員会	12 回（代表者会含む）

以 上